



清水の

豪援隊かわら版

清水ヒデキ

豪援隊隊長・

弁護士・移民コンサルタント
(MARN: 9900985)

「オーストラリアから日本を援けよう」と豪援隊発足。16歳に単身オーストラリアに留学。その後ボンド大学卒業後、QLD州弁護士資格取得。長年に渡り、日本人ならびに日系企業、世界各国のクライアントのコンサルタント業務に従事。

<今月のお店紹介> Π (Pie) fection

オーストラリア名物といえばミートパイ。しかし、どこで食べても同じとお嘆きのあなたへ朗報です。「たかがミートパイ、されどミートパイ」。ミートパイも腕のいいシェフにかかれば、立派な料理に変身することができるのです。そんなワンランクもツーランクも上のミートパイを食されたい方へお勧めするのはブリスベンにあるこちらのお店「π (Pie) fection (パイフェクション)」。

何とんでもこのお店のパイは中身の具がおいしい。普通のパイ屋さんではまず見かけないようなパイがなっています。中でもお奨めは「JD BBQ Pork Rib Pie」。ポークのパイ自体珍しいのですが、この一品はシェフがBBQしたポークをジャックダニエルで煮込んだ柔らかくポークがパイの中に入っているという秀逸なもの。他にも珍しいパイもたくさんあり目移りしてしまいます。

ミートパイ好きにはお奨めのお店です。

1373 Logan Rd, Mt Gravatt Central (At the intersection of Logan and Selborne Rds)
Ph: 3343-8344 Mob: 0401 830 868 Open 7 days 7am-7pm (9-5 Sundays)

<今月の視点> 「いよいよ選挙」

9月7日には、いよいよ総選挙です。今回は政権交代の可能性を十分に含んだ選挙ということで国民の注目が高い選挙です。

8月末、このコラムを書いているころは選挙戦も終盤戦を迎え、いよいよ各党同士ののりしりあいに近い悪口合戦が本番を迎えています。(おそらく、このかわら版を皆様を読まれるころには、すでに結果が出ているのではないのでしょうか。)なかでも、テレビ広告でしきりに労働党が放映しているネガティブキャンペーンの「If he wins, you lose.」(アボット氏(自由・国民連合党)が(選挙に)勝てば、あなたは負け(失う)は、労働党が負ければあなたは今の職から解雇される、仕事がなくなる、社会保障もカットされる、教育にお金が回らなくなる、子供の将来がなくなってしまう等、最初は国民に労働党の政策を訴えて支援を求めるといっていたラッド陣営も、そんな悠長なことを言われてられないくらいに苦戦をしています。

もともと万全を期して労働党の救世主として再登場したラッド首相でしたが、今回の選挙は2007年にラッド労働党が当時ハワード内閣から政権奪取をした時の選挙とはまったく異なる選挙戦の戦いを強いられています。それもそのはず、過去6年近くにわたって政権を担ってきた労働党のお家騒動や的外れの政策、そしてその間の豪経済悪化はどんどん国民の労働党離れを助長していき、マスコミも今回の選挙に関しては「これでいよいよ労働党を追い出せる」という論調の記事をしきりと書いています。そのため、支持率挽回にとラッド首相も至る所で、どんどん「ばら撒き」も行っているのですが、逆に「財源は？」と国民が心配する始末。その上、再選後100日以内に同性婚を認める法律を制定するという、一つの切り札もすでに出しました。その反面、自由・国民党はばら撒き的なことを行わず、とにかく無駄を省いて財政を立て直そうと呼びかけている状態。同性婚について、敬虔なクリスチャンであるアボット氏は宗教上の理由もあり、それを認めるというところまでは言っていません。(右上に続く→)

派手に動き回っている「動」のラッド首相と、静かに着実に支持率を上げている派手さのないアボット氏。党の違いはあれ、政策的にはあまり代わりがないというこの二人の代表が戦っている今回の選挙戦ですが、思ったより盛り上がり欠けているのも事実。この盛り上がりのなさは、正に国民が興味を失っているからに他なりません。なぜ興味を失っているかって？ 筆者が話をしたオーストラリア人(所謂浮動票者)の多くは、すでに選挙前から次の選挙ではどちらに投票するかを決めていたという人が大半。今回の選挙で、このことが何を示すかといえば、すでに始まる前から政権交代を望む声の大きいということ、「ノーモア労働党」という国民が多いということです。

そのため、今回は新年に筆者が勝手に予想したように労働党の大敗となるのではないのでしょうか。そして、政権交代後、経済政策には定評のある自由・国民党が経済の建て直しをはかり、年末から年明け以降、オーストラリア政治と経済も明るいさざしを見せ始めると思いますが。(あくまでも当方の勝手な予想ですが。。。)

<今月の注目記事 その1>

Wages growth the slowest in 3.5 years
by: By Jason Cadden
From: AAP August 14, 2013 6:06PM
(給料の増加率過去3年半で最低)

Read more: <http://www.news.com.au/business/breaking-news/hourly-pay-rates-up-07-in-june-qtr/story-e6frfkur-1226696918202#ixzz2dO7pNM8>

年内中の公定歩合の利下げがささやかれている中、オーストラリアの2013年給料増加率が過去3年半で最低の2.9%であったと伝えられました。この傾向は、失業率が上昇傾向にあり、企業もコスト削減をしている状況であることを考えると、しばらくは続くのではと専門家は見ているようです。

<今月の注目記事 その2>

Ka-ching! One cleverman who loves telemarkets' calls NEWS.COM.AU AUGUST 29, 2013 1:09PM

(電話セールスを愛する賢い男性の話)
News.com.au 2013年8月29日付け

いろいろな商品を売りつけようと日夜選ばず電話を掛けてくる電話セールス(テレマーケティング)には、みなさんも困っているかと思います。オーストラリアでは、インドのコールセンターがよく使われているため、電話を取るとインドなまりの英語が聞こえてきます。そのせいで、知り合いのインドなまりのある友人は仕事で電話をかけると、その友人のことを知らない先方は、インドのコールセンターからのセールスだと思われてしまい困ってしまうとこぼしていました。

さて、日本やオーストラリアだけでなく、電話によるセールスで迷惑をこうむっているのは他の国も一緒です。この電話セールスに辟易したイギリス人の男性は電話会社を通じて有料回線を設置し、電話セールスはその番号に掛けてきた場合には、その掛けた電話セールスがその男性の話をするためには毎分17セントの接続料を支払わなければならないようにしたそうです。その男性の電話番号に掛けると、まずその旨が伝えられ、そのまま電話を切るか(それだけであれば無料)、そこから有料となってもその男性と話をすることを電話セールスが選択した場合には、その時点から毎分17セントが課せられるということです。2011年末に設置したこの有料回線で、今までに\$500以上の稼いだとか。1分で17セントと考えると、それでも何かを売りつけようとする電話セールスとの多いことが伺えます。

電話会社は、こうしたやり方も一切奨励していないそうですが、この男性からすると有料と分かっているながらも掛けてくる電話セールスたちはとてもウェルカムだということです。

<今月の名言>

人間が生きていくのに一番大切なのは、頭のよし悪しではなく、心のよし悪しだ。感謝するに値するものがないのではない。感謝するに値するものを、気がつかないでいるのだ。

中村天風 より

<今月のジョーク その1>

大阪維新の会が「首相指名制から首相公選制へ」と掲げていますが、どう思いますか？

それは知らなかった。当番制じゃなかったのかい？

<今月のジョーク その2>

ジョーは酒場で論理学の教授と知り合った。
「論理学ってのはどういったもんですか？」
「やって見せましょうか。お宅には芝刈機があります？」
「ありますよ」
「ということは、広い庭があるわけですね？」
「その通り！うちには広い庭があります」
「ということは、一戸建てですね？」
「その通り！一戸建てです」
「ということは、ご家族がいますね？」
「その通り！妻と2人の子供がいます」
「ということは、あなたはホモではないですね？」
「その通り！ホモじゃありません」
「つまりこれが論理学ですよ」
「なるほど！」
深く感心したジョーは、翌日友人のステイブに言った。
「論理学を教えてやろう。君の家には芝刈機があるか？」
「いや。ないよ」

「ということは、君はホモだな！！」

<今月のジョーク その3>

テレビゲームばかりやっている息子に、お父さんは勉強させようと偉い人の話をしました。

「ジミー。リンカーンって知ってるだろ？リンカーンがお前の年の頃には、暖炉の明かりで勉強してたんだぞ。それぐらい勉強したんだ」

「ふうん。パパ、ボクも言っている？」

「なんだ？」

「リンカーンはパパの年の頃には、アメリカの大統領だったよ」

(ジョーク集より)



このかわら版、またはビザに関する質問、お問い合わせは、こちらまでお気軽に！

ゴールドコースト事務所 住所: Suite7, 155 Varsity Parade Varsity Lakes QLD 4227

電話: 1300 365 811, +61-7-5630-6505, Fax: +61-7-3319-6131 (担当: 関)
E mail : info@goaustralia-visa.com Website : www.goaustralia-visa.com